


## 事例紹介

### おきなわ津梁ネットワーク

 <http://www.shinryo.okinawa.med.or.jp/>

#### システムの概要

システムの実施目的・地域など

参加団体数と参加患者数

参加の同意方法について

患者さんの同意取得の詳細

サービスについて

共有できる情報項目

共有情報の取得元

システムについて

通信ネットワーク

ログインセキュリティ

主なIT企業

サービス利用・参加料金

蓄積された個人情報の利用

予算について

費用の負担について

#### システムの概要

システム名	おきなわ津梁ネットワーク
代表団体	一般社団法人沖縄県医師会
運用開始状況	導入済み：2015年
稼働状況	サービス運用中
運用終了年	
提供地域	沖縄
自治体の参加状況	運営主体として参画中
事務局運営人数	専任2人、兼任3人

#### システムの実施目的・地域など

システムの導入目的	医療連携、在宅医療対策、糖尿病対策、疾病管理、脳卒中対策、急性心筋梗塞対策、疾病予防対策、健康管理
地域の課題	・65歳未満の死亡率が高い・外来受療率が低い
システム導入効果 凡例：(○)効果あり、	(△)患者サービスが向上した (△)患者の負担が軽減した

<p>(△) どちらとも言えない、(×) 効果なし</p>	<p>(△) 医療機関間で機能分化が進んだ  (△) 医療機関間の知識やノウハウの伝達習得が進んだ  (△) 医療機関間の人的ネットワークが進んだ  (△) 医師の偏在を補う効果があった  (△) 患者紹介の円滑化が進んだ  (△) 地域中核病院のサポートが受けられるようになった  (△) 診療所の支援が受けられるようになった  (△) 業務全体の負担軽減  (△) 医師の負担軽減  (△) 看護師の負担軽減  (△) 事務職員の負担軽減  (△) 技術職員の負担軽減  (△) 従事者間の情報共有が向上した  (△) 従事者間の連携が向上した</p>
<p>システムの課題</p>	<p>「継続運用」一番の課題は継続して運用していくための運用コストを如何に安定的に確保出来るかであると考えます。運用コストには、システム保守料や会議費等に加え、ネットワークに参加いただくための広報費も必要となってくる。システム保守料は、利便性を高めたり、ユーザーの要望に沿えば沿うほど、運用コストが高くなるため、保守会社との慎重な契約が必要と考えます。場合によっては、システムの一部機能の見直し、停止なども念頭に置く必要があるのではないかと考えます。「同意取得」個人情報、医療情報等、機微性の高い情報を取り扱うため、どうしても個人個人に説明し同意を取得する必要があります。しかし、実際の診療業務に加え、同意取得に必要な説明を行うことに業務負担が増し、各施設のスタッフの抵抗感を与えることになり、なかなか賛同いただけいない部分もある。現実的ではないが、健康条例などの策定や保険証の利活用による包括同意が可能になると一気にネットワークの利用頻度や価値があがるものと考えます。「セキュリティVS利便性」セキュリティと利便性は相反するものとなっており、セキュリティを強化したために利便性が低下し、利便性を向上するとセキュリティレベルが低下し、情報漏洩などに繋がっていく。どの辺りを落としどころとするか国レベルでの検討が必要と考えます。「システムへの入力」院内で利用するレセコンや電子カルテなどの医療系システム以外に、ネットワーク専用の端末を配置することで、基本情報や医療情報の二重入力が発生する。回避策もあるが、費用面での問題もあり根本的な解決には至らない。</p>
<p>工夫した点</p>	<p>保険者（市町村国保、協会けんぽ、後期高齢者医療広域連合）より、健診データを提供いただいたこと。</p>
<p>対象地域</p>	<p>全県域での連携</p>

## 参加団体数と参加患者数

<p>参加団体と参加患者数</p>	<p>【病院】 実施中：28施設  【医科診療所】 実施中：88施設  【歯科診療所】 実施中：13施設  【薬局】 実施中：32施設  【介護施設】 実施中：7施設  【その他】 実施中：1施設</p>
<p>利用施設数の割合</p>	
<p>登録患者数状況</p>	<p>実績数</p>

登録患者数	45430
情報共有している患者状況	実績数
共有患者数	

## 参加の同意方法について

医療機関等	医療機関地域全体で参加 医療機関施設毎の参加判断
介護施設・その他	介護施設地域全体で参加 介護施設施設毎の参加判断
患者さん	患者一括同意 患者その他の方式

## 患者さんの同意取得の詳細

新規の患者さん	同意書による取得
撤回する場合	同意書の撤回(脱退)文書による
連携先の増加	

## サービスについて

疾病	脳血管障害、心臓疾患、糖尿病、その他
サービス	電子紹介状、退院時サマリ、健診情報連携、検査機関との連携、患者用IDカードの発行、医療従事者用モバイル対応
補足・備考	

## 共有できる情報項目

基本情報	患者基本情報、病名情報
文書	診療情報提供書、医師記録、手術記録、看護記録等、文章その他 文書類を添付機能にて実施

オーダ情報	
検査結果	検体検査結果、生理検査結果、画像
調剤結果	調剤結果
その他	

## 共有情報の取得元

共有情報の取得元	病院電子カルテより、病院レセコンより、医科診療所電子カルテより、医科診療所レセコンより、薬局レセコンより、検査センターより、その他より 検査会社、市町村国保連合会（後期高齢含む）、協会けんぽより独自システムあるいはCD等で取得
----------	--

## システムについて

連携方式	クラウド型
情報共有の形態	双方向での共有
患者IDシステム	独自開発のシステムを利用、その他の共通IDシステムを利用
標準化ストレージ	
情報の保存場所	院外のデータセンター
障害対策	磁気メディア等別媒体への保存
厚労省標準規格の採用	医療におけるデジタル画像と通信、JAHIS臨床検査データ交換規約、標準歯科病名マスター、臨床検査マスター

## 通信ネットワーク

医療機関等との通信	医療機関との通信IP-VPN、医療機関との通信インターネットVPN
介護施設・その他施設との通信	介護施設の通信インターネットVPN
患者さんとの通信	

## ログインセキュリティ

医療機関・薬局用	2要素認証、IDとパスワード
介護施設・その他施設用	IDとパスワード
患者さん用	

## 主なIT企業

企業名（1）	
企業名（2）	
企業名（3）	

## サービス利用・参加料金

病院（開示施設）	実施中：有料 月額：100000円 補足：開示病院の月額利用料は以下のとおり 特定機能病院・地域医療支援病院 100000 上記以外の救急告示病院 基本料 45000に以下を課金 病床数 100床未満 15000 100～199 20000 200～299 25000 300以上 30000
病院（閲覧施設）	実施中：有料 月額：15000円 補足：開示情報が限定されており、開示側・閲覧側共に同額
診療所	実施中：有料 月額：5000円 補足：開示情報が限定されており、開示側・閲覧側共に同額
薬局	実施中：有料 月額：3000円 補足：開示情報が限定されており、開示側・閲覧側共に同額
介護施設	実施中：有料 月額：2000円 補足：開示情報が限定されており、開示側・閲覧側共に同額
患者さん	実施中：無料

## 蓄積された個人情報の利用

地域の医療費適正化の目的で利用	実施なし/予定なし
学術研究等の公益目的で利用	実施なし/予定なし
公益目的以外で利用	実施なし/予定なし

## 予算について

構築費用概算	250321（千円）
年間運用費用概算	
保守費概算	
その他年間費用概算	

## 費用の負担について

実施中システム構築費の負担	自治体の負担
実施中システム運用費の負担	参加施設の負担
実施予定システム構築費の負担	
実施予定システム運用費の負担	

[← 事例一覧へ戻る](#)

[ページの先頭へ戻る](#) 

- 医療情報連携ネットワークの導入効果
- 利用者の声（導入効果）

- 実施のポイント
- 利用者の声（苦労した点、成功要因）
- ガイドライン、書式例など

- 医療情報連携ネットワークとは
- データで見る
- ピックアップ事例
- 事例を探す

- 構築手順
  - 構築手順について
  - Step1：計画
  - Step2：構築
  - Step3：運用
  - Step4：更改

- FAQ
- 用語集
- お役立ち情報
  - リンク集
  - 資料ダウンロード